

サマータイム開始のお知らせ

シドニーでは、10月3日(日)の午前2時よりサマータイムが開始いたしました。これにより、来年4月3日(日)にサマータイムが終了するまで、日本との時差が2時間になります。TELC Ultimoのオンライン授業およびベネッセGCAのオンラインオフィスや放課後に実施しているSpeaking Sessionなどのイベントは、現地での開始時間を1時間遅くするため、日本にいる学生の皆さんのスケジュールはこれまで通りで変更はありません。

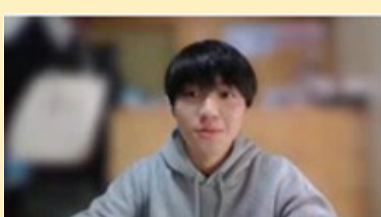
Upper Intermediate修了

セッション 8で今川なつみ、福本さえ、岡田爽希の3名がUpper Intermediateを修了しました。おめでとう！！



卒業生体験談イベント

8月下旬より開催していたBGCA卒業生からTAFE本科や大学の体験談を聞ける卒業生体験談イベントを、9月にも実施しました。



Business

市川 真優 (13期生)

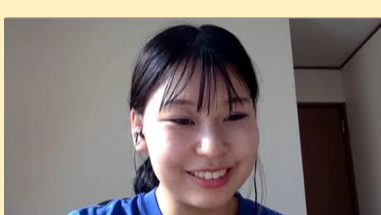
- Certificate 4 in Business / TAFE NSW Ultimo campus
- Diploma of Business / TAFE NSW Granville campus

<TAFE本科について>

2020年4月にオーストラリアへ渡航予定でしたが、14期生と同じように渡航できていないので、TELCを日本からのオンライン受講で修了し、2021年2月からTAFE本科もオンラインで受講しています。ビジネスコースでは、経理、経営、オーストラリアの労働環境に関する法律など、幅広く学んでいます。Certificate 4のときは個人で取り組む課題ばかりでしたが、Diplomaではグループ課題が増えました。現在、ネイティブスピーカー2名と課題に取り組んでおり、自分だけ言いたいことをうまく伝えられなかったり、適切な回答ができ

ているか不安になることもあります。とても良い経験になっています。「TELC卒業後、渡航できるまで何も受講せずに自習だけで英語力を維持する自信がなかったこと」

「BGCA卒業生から、ビジネスは対面受講であっても座学が多いと聞いていたこと」から、TAFE本科をオンラインで受講開始することに決めました。TAFE本科は難しいですが、予復習をしっかりすれば授業にもついていけるし、興味のあることを学べて楽しいです。オンラインでも、しっかり学べることを実感できているので、受講開始しておいて良かったと思っています。



Business

菅野 仁美 (12期生)

- Certificate 4 in Business / TAFE NSW Granville campus
- Diploma of Business / TAFE NSW Granville campus
- Bachelor of Business Major in Management / Swinburne University of Technology

<TAFE本科について>

TAFE本科は、現地のロックダウン期間を除いては対面で受講しました。授業では、経営、マーケティング、マネジメント、簿記などについて学びました。ディスカッションが多く、コミュニケーション力が身についたと思います。TAFE本科開始当初は、先生たちが話す英語のスピードがTELCより速く、授業で使われる専門用語が増えて戸惑うこともありましたが、私が通っていたGranvilleキャンパスは、少人数クラスで他国出身の英語が第二言語の学生が多かったため、様々な文化に触れられるだけでなく、英語の間違いを恐れる必要がない発言しやすい環境でした。

<大学について>

TAFE本科修了後に日本に戻り、今は日本からオンラインで受講しています。大学選びのポイントは「TAFE本科卒業資格の単位をどれくらい認めてくれるか」「選択科目でビジネス以外に関する科目(例えば心理学など)を学べるか」でした。決められた時間割がなく、大学のアプリを使って勉強しています。グループ課題の時は、メンバーとビデオ会議で話し合っています。オンラインでの学びは大変なこともあります。自分の工夫次第で何とかできるし、勉強内容はとても興味深いことばかりなので、これからも楽しみながら受講したいと思っています。



International Business

星崎 鈴奈 (11期生)

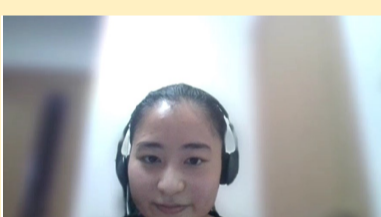
- Certificate 4 in International Trade / TAFE NSW Ultimo campus
- Diploma of International Business / TAFE NSW Ultimo campus
- Bachelor of Business Major in Advertising and Marketing Communications / University of Technology Sydney

<TAFE本科について>

TAFE本科は国際ビジネスを専攻しました。国際ビジネスでは、マーケティングや会計、法律などを、それぞれオーストラリアと他国との違いという観点から学びました。Ultimoキャンパスを選んだ理由は、シドニー中心部にあるためどこへでもアクセスしやすいことと、多国籍の学生が多く在籍していることでした。クラスメートは英語が第二言語とはいえ流暢に話せる人ばかりで、最初は戸惑うこともありましたが、授業でディスカッションを重ねる中で英語力の向上を実感でき、また、英語で新しいことを学ぶ楽しさが大きかったため、TAFE本科が辛いと感じたことはありませんでした。

<大学について>

大学では、TAFE本科より難易度が格段に上がりましたが、TAFE本科で勉強の仕方を身につけていたおかげで、スムーズに対応することができました。TAFE本科から大学へ編入する進学ルートを選んでよかったと思います。また、授業で使われる英語が難しく、日常生活で使う英語がいくらか話せても、それだけでは大学で通用しないことも痛感しました。レポートでは学術的な英語を使うことが求められ、内容が的確であっても口語を用いて書いてしまうと、減点になるため、大学のヘルプセンターでレポートを添削してもらったり、アドバイスをもらったりしています。大学進学の前、本やレポートなどを読んで学術的な英語にも慣れておくことをお勧めします。



Event

篠崎 昂 (13期生)

- Bachelor of Business Major in Event Management / Torrens University

<大学について>

昨年TELCをオンラインで受講している期間中に、TAFE本科開始までに渡航ができなかった時点で、オンラインで受講開始できるオーストラリアの大学を探し始めました。TELCで培った英語力の維持や、将来の日本国内での就職活動の時期を考慮した結果、TELC修了後、期間を空けずに大学の学士コースへ進学することにしました。日本からオンラインで同コースを受講開始してから半年近くが経ちましたが、要領よく勉強できるようになったと感じています。例えば、入学当初は渡された資料全てに目を通していたために、一日中資料を読んでいたこともあ

りましたが、まずはタイトルだけを見て、読む必要があるかどうか判断し、必要なものだけを読むようにしたら、随分と効率が上がりました。また、グループ課題などを通して、コミュニケーション力も伸びたと思います。

※コース受講開始直後の2021年2月に、同学生にコースについてインタビューした記事を、BGCA便り211号に掲載しています。ご興味のある方は、右側のQRコードよりそちらの記事も合わせてご覧ください。



Design

川本 美羽 (13期生)

- Diploma in Creative Industries / QUT College
- Bachelor of Design Major in Interior Architecture / Queensland University of Technology (QUT) ※Diploma修了後に進学予定

<大学附属カレッジについて>

英語コース修了後も渡航できない状況が続く中、様々な進路を模索しましたが、以前オーストラリアに行ったときに雰囲気や人々の考え方が自分に合っていると感じたことから、オーストラリアに留学しないと後悔すると思い、オンラインでQUTカレッジのクリエイティブ産業コースを受講開始しました。大学に関する情報収集の際には、各大学のウェブサイトを入念にチェックし、特にコース修了後のキャリア例や各教科で学べる内容を重視しました。クリエイティブ産業というコース柄、創造性を求められる課題が多く、専門用語もたくさん出てくるので苦戦するこ

ともありますが、先生に質問もしやすい環境なので、楽しみながら受講できています。また、学術的な英語はTELCにいたときと比べると、現在のコースを受講開始してからのほうが伸びていることも実感できています。

※コース受講開始直後の2021年8月に、同学生にコースについてインタビューした記事を、BGCA便り216号に掲載しています。ご興味のある方は、右側のQRコードよりそちらの記事も合わせてご覧ください。



BGCA Speaking Session

4月下旬から実施しているBGCA Speaking Sessionは、現在も毎週1~2回行っています。学生たちから「TELC Ultimoのクラスのレベルが上がるにつれて授業で時事問題など難しい内容について話す機会が多いので、そのような会話には慣れてきたが、現地での生活に必要な英会話に自信がない。BGCAのSpeaking Sessionでは会話を楽しみたい！」との声が多いため、レストランやお店、銀行に行ったときや、電話対応で使える日常英会話など、TELC Ultimoの授業では、あまり取り扱われないような内容を練習したりしています。その際に、SSO自身が渡豪当初に日本との違いに戸惑った体験談や、オーストラリアの習慣などについても話しています。



Speaking Sessionでは、店員や客などの役に分かれて会話をする"Role Play"や"Word Association Game (連想ゲーム)"などを行っています。授業とは少し異なり、日常生活で使えるような英語を勉強する良い機会になっていきます。ここで学んだことを使う日が来ることを楽しみにしています！ (永松由沙貴)



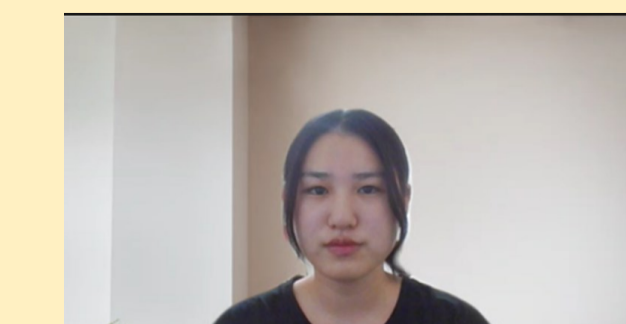
↑9月29日(水)のSpeaking Sessionでは、サマータイム(Daylight Saving)について説明をし、よく使われる単語やフレーズを取り入れた会話の練習もしました。



9月目標達成者

9月の目標を達成できたのは1名でした。

山口美羽	<ul style="list-style-type: none"> • 英語で日記を1週間に3回書く • 毎日その日の授業の復習をする • 単語リストを作る
------	--



10月の誕生日

